

蔵王山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

< 火口周辺警報（火口周辺危険）が継続 >

蔵王山では、4 月 7 日以降御釜付近が震源とみられる火山性地震が増加しています。火山活動は活発となっており、今後、小規模な噴火が発生する可能性があります。

本日、宮城県の協力により実施した上空からの観測では、御釜周辺と丸山沢噴気地帯をはじめ想定火口域（馬の背カルデラ）内に異常は認められませんでした。

【防災上の警戒事項等】

想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね 1.2km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

2015 年 4 月 13 日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。その後警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2、図 3、図 4）

本日（18 日）、宮城県の協力により実施した上空からの観測では、御釜は凍結しており、御釜周辺に噴気及び地熱域¹⁾はみられませんでした。また、丸山沢噴気地熱地帯をはじめ想定火口域（馬の背カルデラ）内に異常は認められませんでした。

遠刈田温泉及び上山金谷に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 5、図 6）

蔵王山では 4 月 7 日以降、御釜付近が震源と推定される規模の小さな火山性地震が増加し、本日（18 日）も多い状態が継続しています。今月（4 月）の地震回数が 250 回（18 日 15 時まで）と多い状態となっており、2010 年 9 月の観測開始以降、最多の月別の地震回数となっています。

火山性微動は 4 月 10 日以降観測されていません。

・地殻変動の状況

坊平観測点に設置している傾斜計²⁾及び GNSS³⁾連続観測による地殻変動観測では、地震の増加に伴う特段の変化はみられません。

- 1) 赤外熱映像装置による観測。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。
- 3) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

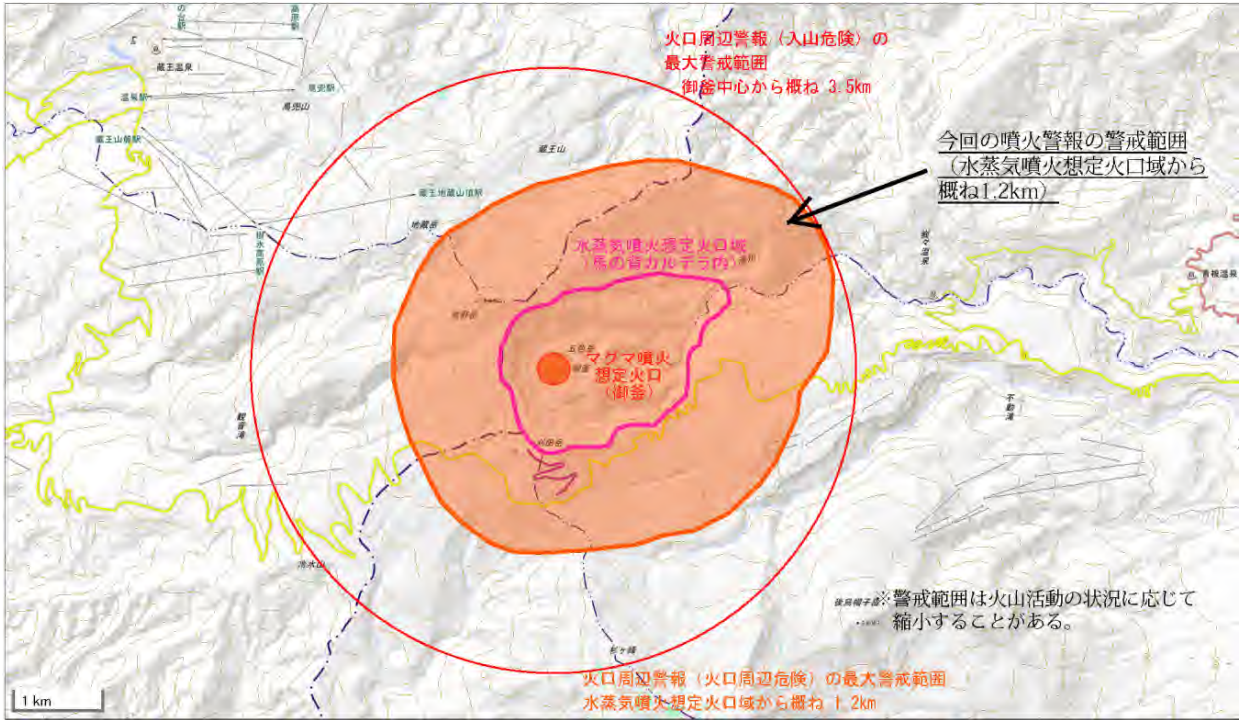


図1 蔵王山 小規模な噴火について警戒が必要な範囲
 橙領域内：想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね1.2km の範囲
 地図は国土地理院 地理院地図 <http://www.gsi.go.jp/> による

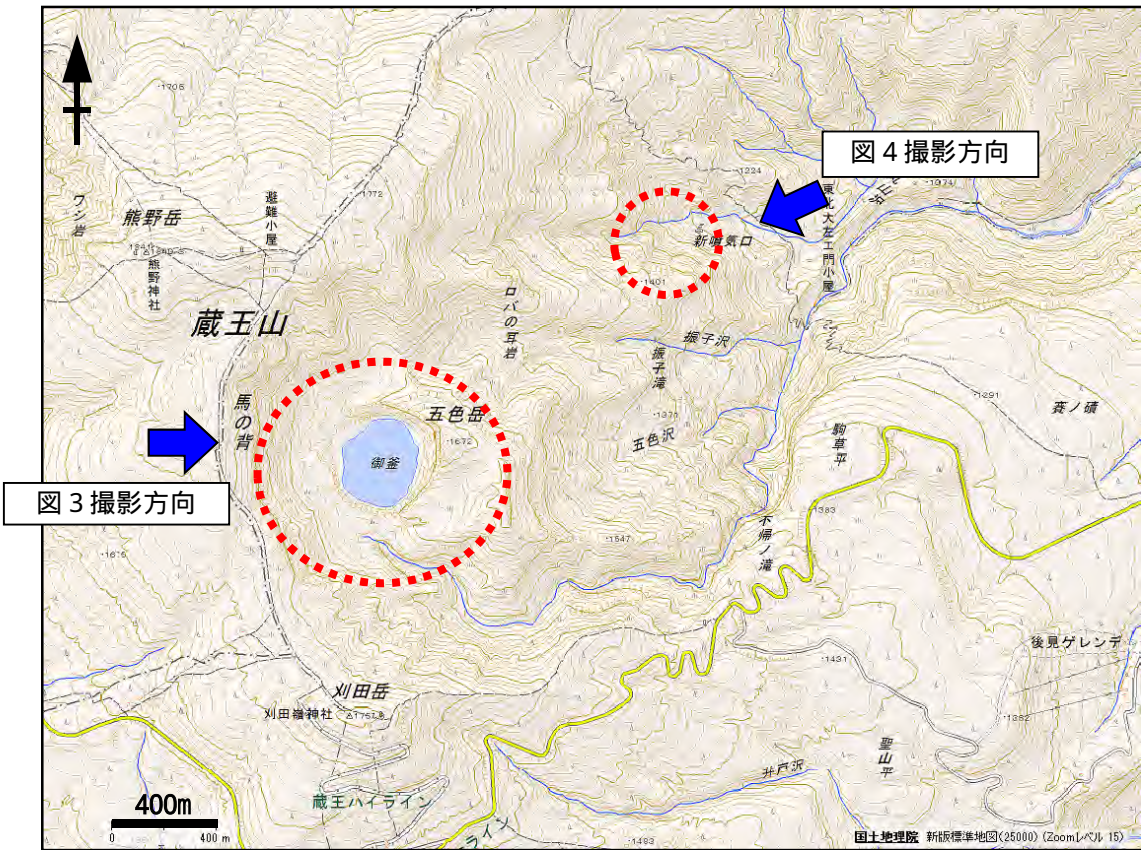


図2 蔵王山 上空からの写真及び地表面温度分布の撮影方向と範囲

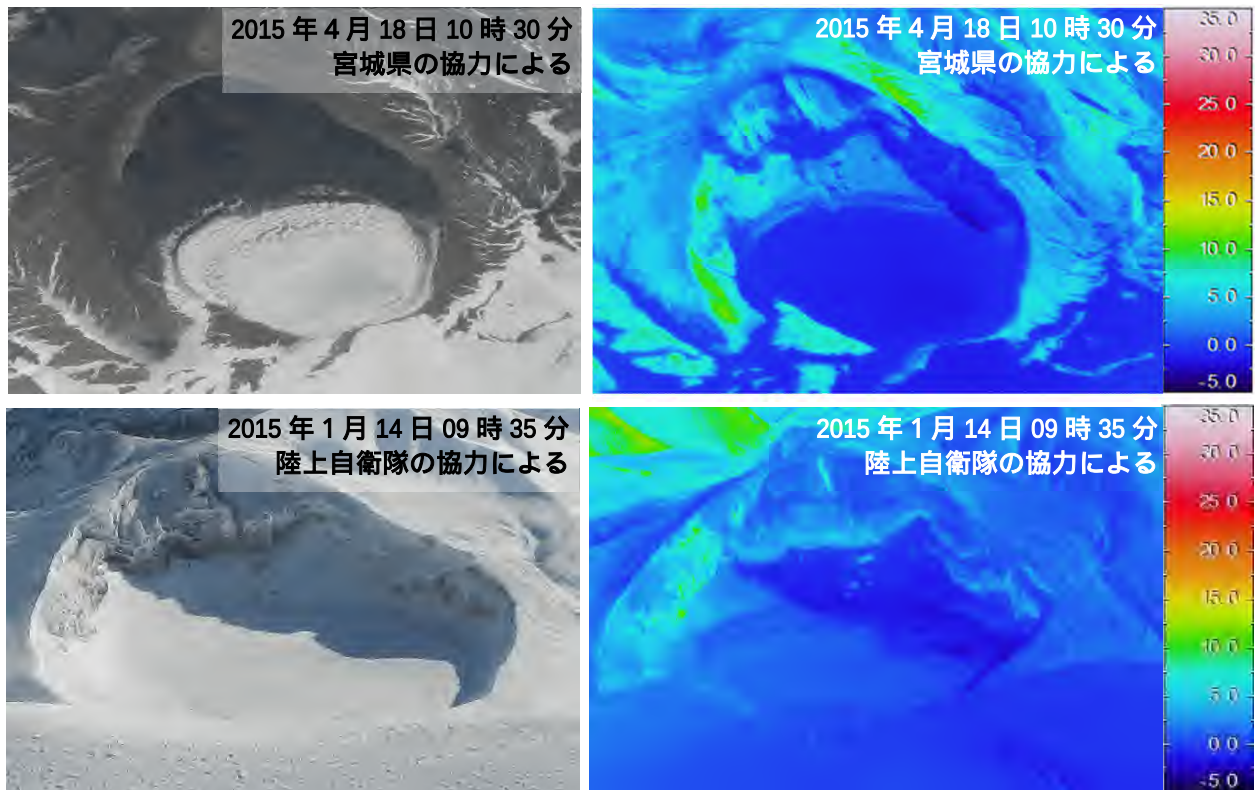


図 3 蔵王山 御釜の状況と地表面温度分布

- ・御釜とその周辺に噴気、地熱域は認められませんでした。
- (周囲より温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。)

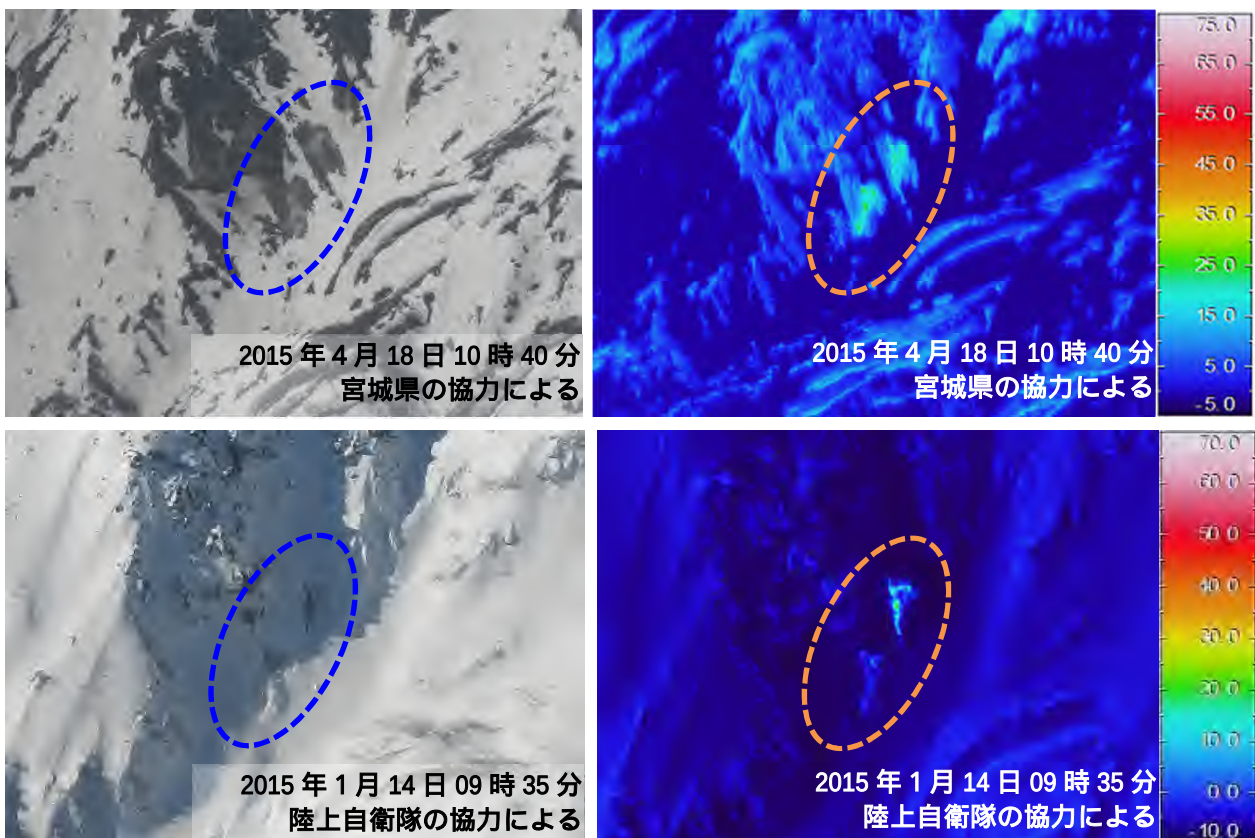


図 4 蔵王山 丸山沢噴気地熱地帯の状況と地表面温度分布

- ・噴気の高さは10m以下で、前回と比較して変化は認められませんでした。
- ・地熱域の状況にも特段の変化は認められませんでした。
- (周囲より温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。)

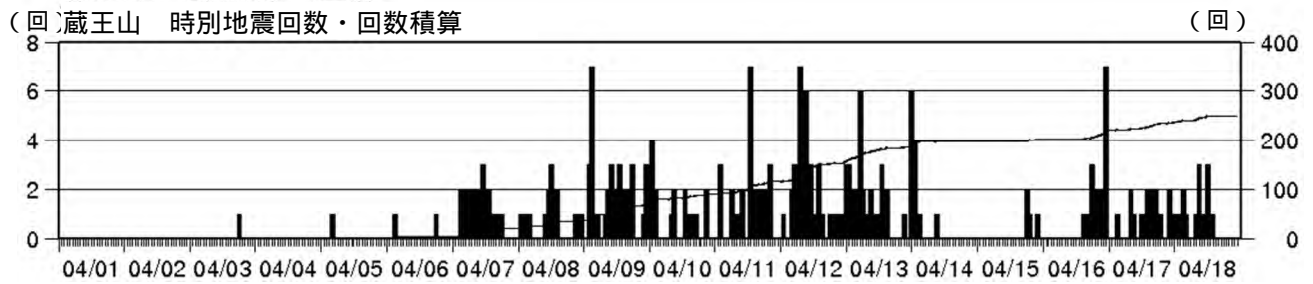


図 5 蔵王山 特別地震回数 (2015 年 4 月 1 日 ~ 2015 年 4 月 18 日 15 時)

・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

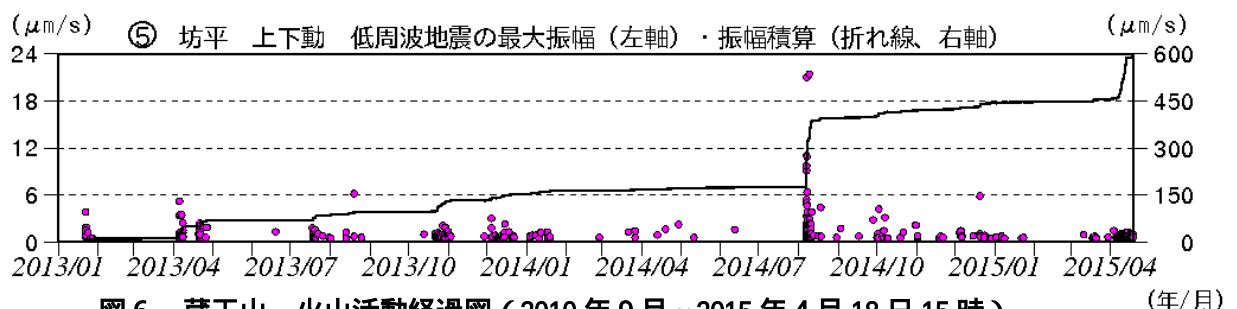
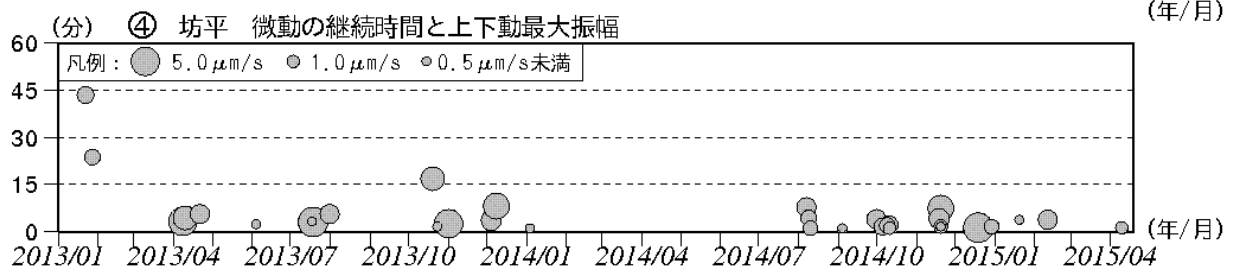
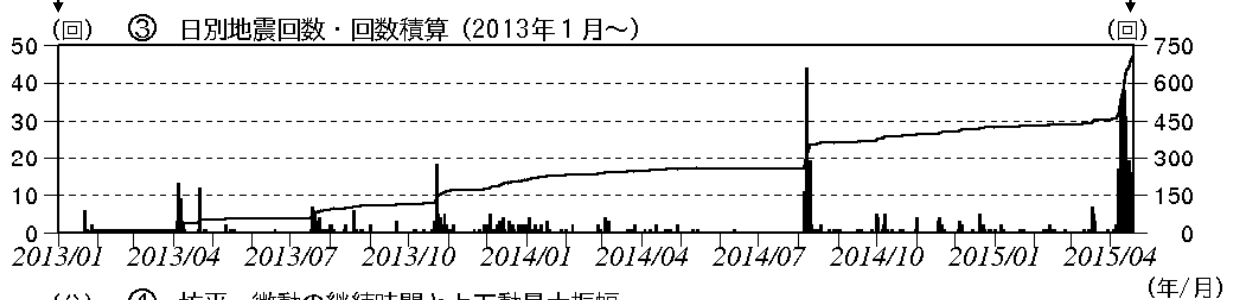
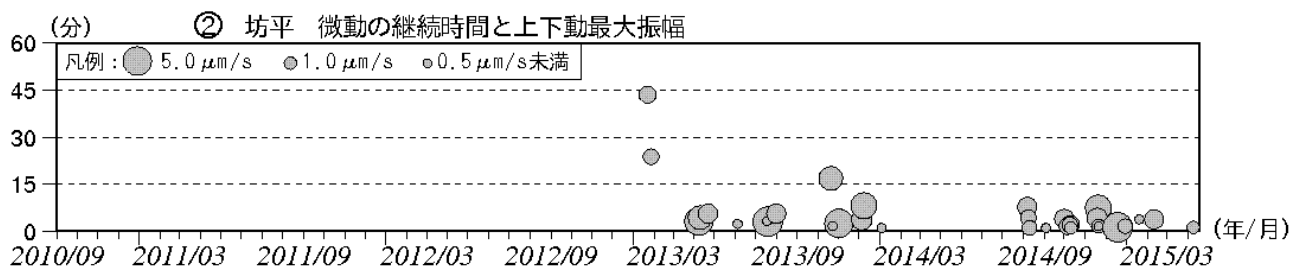
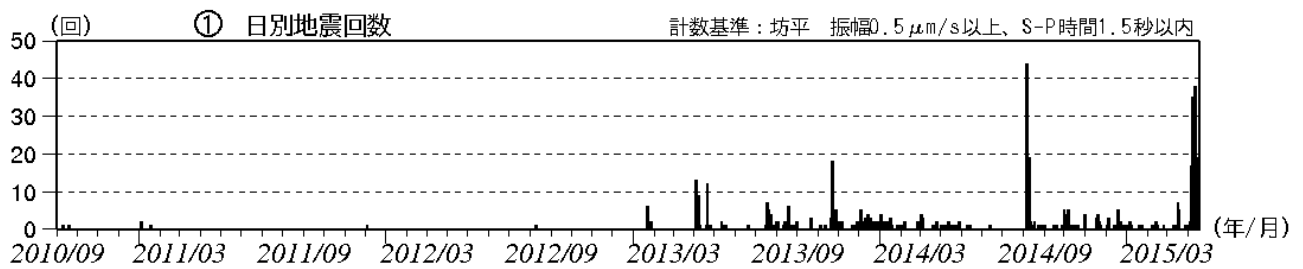


図 6 蔵王山 火山活動経過図 (2010 年 9 月 ~ 2015 年 4 月 18 日 15 時)

・2010 年 9 月 1 日から観測を開始しました。

・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

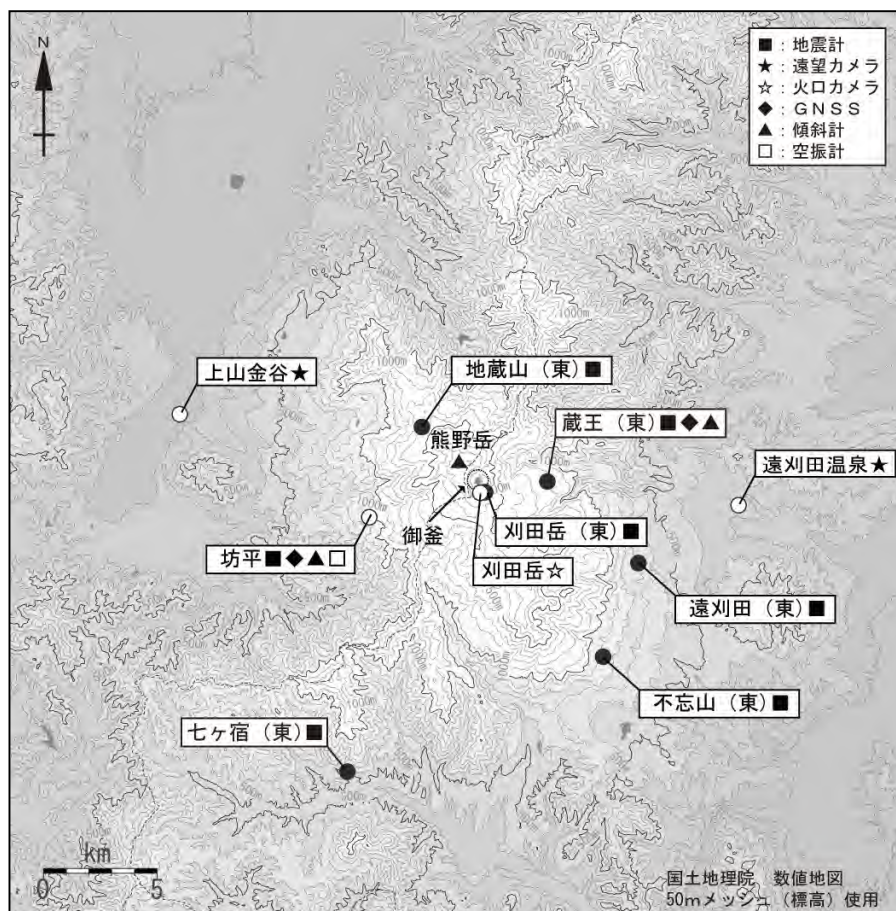


図 7 蔵王山 観測点配置図

○は気象庁、●は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
刈田岳火口カメラは、冬季は観測を停止しています。
(東)：東北大学